令和5年度後発医薬品使用促進計画

(別添2 様式例)

策定年月日 令和5年4月30日(公表年月日 令和5年5月19日 公表方法 網走市ホームページ)

自治体名 (福祉事務所名)	網走市 (〇〇市福祉事務所)	後発医薬品の数量シェア (令和4年6月審査分)	全国の使用割合	国が定める目標値 ^(※) (A)	管内実績 (B)	目標との差 (A-B)
			86.4%	80.0%	78.0%	2.0%
<現在の状況> 1. 先発医薬品を調剤した事情(薬局からの報告に關しての集計) 「後発医薬品の在庫がない」がもっとも多く、続いて「出荷調整薬のため入荷困難」、「疑義照会を行い処方医により先発医薬品が必要と判断されたため」といった事情がある。 2. 関係機関への説明の状況 これまで目標値を超えていたため、関係機関への周知等は実施していなかった。			<対応方針>			
			被保護者への説明 ケースワーカーによる生活保護受給者への後発医薬品の原則服用について説明を行い、理解促進を図る。			
			関係機関への説明 調剤薬局および医療機関へ後発医薬品利用促進を周知し、理解が得られるよう努める。			
			薬局における備蓄について 後発医薬品の在庫が少ない薬局等に対し、問題を解消するよう協力を求める。			
<使用促進が進んでいない原因> ・医療機関や調剤薬局における備蓄の問題。 ・ケースワーカーから生活保護受給者へ後発医薬品の原則服用を説明しているが、被保護者の理解や意識にばらつきがあるため。			その他 特になし。			
			<備考>			

※ 毎年度 80%達成を目指す。